

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | | |
|---|--|---|
| (宛 先) 京 都 市 長 | | 平成29年7月28日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市西京区山田平尾町17 | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 社会福祉法人京都社会事業財団 会長 野口 雅滋 |
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | | |
| 環境マネジメントシステムの名称 | KES・環境マネジメントシステム・スタンダード | |
| 適用範囲 | 社会福祉法人 京都社会事業財団 | |
| 導入年月日 | 2013年3月1日 | |
| 認証番号 | KES1-1276 | |
| 基本方針 | ①当院の活動等に係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に環境マネジメント活動の継続的改善を図る。 ②当院の活動等に係る環境関連の法的及びその他の要求事項を順守する。 ③電力使用量の削減、都市ガス使用量の削減、水の使用量の削減を環境管理重点テーマとして取り組む。 | |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | <ul style="list-style-type: none"> ・電力使用量を2015年度実績維持 ・都市ガス使用量を2015年度実績維持 ・水の使用量（市水＋井水の合算）を2014年度実績維持 | |
| 目標を達成するための取組の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の削減－高輝度誘導灯の導入、照明器具のLED・HF化、OA機器の未使用時の電源OFF ・都市ガス使用量の削減－コージェネ発電機の運転時間の短縮、空調用冷凍機の夜間モード運転、コージェネ発電機2台運転時の廃蒸気の有効利用 ・水の使用量の削減－漏水防止、各所止水道栓の開度の適正化 | |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の削減－高輝度・LED誘導灯に一部交換、照明器具のLED化一部実施、OA機器の未使用時の電源OFFを実施中 ・都市ガス使用量の削減－コージェネ発電機の手動停止、無駄のない排熱利用、空調用冷温水の最適運転を実施中 ・水の使用量の削減－漏水の原因箇所を修理した | |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 当初の計画通りに取り組んでいるが、もう少し努力を重ねたい | |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 関連法規の遵守状況に付いて定期的に確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。 | |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。平成28年度は、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、29年度も同一のシステムを運用する。 | |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。